

赤池ひろもと 後援会だより No.11



<挨拶> 皆さま、こんにちは！

本格的な夏の到来を迎え、厳しい暑さが続く毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本号では、6月の定例会での審議内容や今後の取り組みについてご報告いたします。



@AKAIKE_HIROMOTO



ホームページ

2026.8.1 発行

◆赤池ひろもと後援会事務所：富士宮市万野原新田 3045-23

財政の「ゆとり」を取り戻し、次世代が誇れる富士宮市へ



キー坊一だよ

発行責任者：竹田 英次

電話番号：0544-23-7850

赤池ひろもと マスコットキャラクター

富士宮市のフジ桜、カエデ、ヒバリ、がいます！

【6月補正予算について】

一般会計「6,300万円」

補正予算のポイント報告！

1. 「国の補助金」獲得 [国庫支出金]

生活困窮者や母子家庭への支援事務を効率化するため、富士市と共同でシステムを導入しました。

2. 小学校給食費の無償化 [県支出金]

これまで保護者が負担していた給食費の支払いがなくなりました。足りない分は市が補填します。

3. 三中の工事と埋蔵文化財への対応

第三中学校の給食受入室などの改築工事中、地中から貴重な「埋蔵文化財」が姿を現しました！

ポイント：文化財を守るための「発掘調査」の費用を追加し、調査期間中は建物の工事を休止するため、一旦工事費を減額しました。

<ひろもとの一口講座> 第8回>

予算書の「歳入」を見ると、大きなプラスとマイナスが組み合わさって、最終的に6,300万円の着地になっていることがわかります。

1. [攻めのプラス！] 外から持ってきた「応援資金」

県支出金（約3億1,431万円のプラス）：今回の最大の伸びです。小学校給食費の無償化を進めるにあたり、本来なら市が全額負担するところを、静岡県からの補助金を最大限に活用しました。

国庫支出金（約1,306万円のプラス）：富士宮市が隣接する富士市と協力して事務システムを効率化したことで、国から補助金が届きました。

2. [納得のマイナス] 市民の負担軽減と借金の抑制

諸収入（約2億3,776万円のマイナス）：これは「小学校給食費」として保護者の皆様に支払っていただく予定だったお金です。完全無償化したことでこの収入はゼロになりました。

市債（4,650万円のマイナス）：借金を減らしました。第三中学校の工事現場から埋蔵文化財が見つかり、調査のために一部の工事を来年度に回したため、「今すぐ借りるお金」を少なく設定し直したのです。

3. [最後の調整] 市の貯金箱を活用

繰入金（約1,825万円のプラス）：これら全てのプラスとマイナスを計算し、どうしても足りない「最後の一押し」として、市の貯金箱（こんな時に使うのが、財政調整基金）からお金を取り出しました。



花子から、
ひろもとの近況報告です。



みんなの足とつながりを守る



【近況報告】「富士登山道をきれいにする会」を発足しました！

7月8日、静岡県と富士宮市と当会（代表：赤池弘源）において、「しずおかアダプトロードプログラム」の同意書調印式が市長室で行われました。沿道の方々20名で発足したこの会には、私たちの地域と富士山への強い思いが込められています。世界文化遺産としての価値を見直す取り組みを進めてまいります。

富士山が世界文化遺産になった最大の意義は、自然そのものではなく「信仰の対象」「芸術の源泉」といった人間と自然のかかわり（独自の自然観・文化）が評価されたことにあります。富士山や構成資産（山宮浅間神社など）の素晴らしさをあらためて見直し、日頃から登山道をきれいにすることで地域に貢献したい。そして沿線住民としての誇りを持って、この美しい環境を後世に伝えてまいります。



【子どもたちの命を守る通学路へ！】



大富士小の児童 201 人が毎日利用する「**万野橋（歩道橋）**」は、老朽化のため、安全な利用に限界が近づいています。昭和 46 年の竣工から 50 年が経ち、手摺りが錆で断裂するなど極めて危険な状態です。これを受け令和 8 年 7 月、小学校長・PTA 会長・地元区長と私の連名で市へ緊急要望書を提出しました。早期の安全確保に向け、**全力で取り組みます！**

<あとがき>

この度、後援会長に就任いたしました竹田英次です。万野歩道橋改修の緊急要望など、地域の安全へ迅速に動く赤池ひろもとを、新体制のもと全力でバックアップしてまいります。会員の皆様、今後ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

後援会長 竹田英次